

■2018年度A日程一般入試・実務経験者特別入試筆記試験 「長文読解・小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

1 問一について

〔問一〕は、文章の大意を600字以内で述べさせるものであり、文章の内容を正確に理解し的確に要約する能力を問うものである。

この論述については、人々の生活条件を保障する制度の具体的内容、各制度のメリット・デメリット等に関する記述を正確に理解しているか、的確に要約できるか、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章を書くことができるかどうかを評価している。

2 問二について

自分自身の考えを、明確に、根拠をもって、論理的・説得的に述べる能力を問うものである。

この論述については、人々の生活条件を具体的にどのような制度によって保障することが適切か、という点についての筆者の見解について、自分自身の考えを、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章で書くことができるかどうかを評価している。

【解説】

1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法（斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し）、及び、②記入方法（記入欄・横書き）が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書くなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は、言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2 問一について

人々の生活条件を保障する制度について、1) ①所得保障とアクセス保障の内容、②アクセス保障のメリット、③望ましい社会保障の制度と所得

保障・アクセス保障の関係、④補完的な所得保障制度としての給付つき税額控除、ベーシック・インカム、資産ベース福祉等の内容を理解しているか、2) 的確に要約されているか、3) 読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章であるか、等を基準として採点している。

3 問二について

人々の生活条件を保障する制度についての筆者の見解について、筆者の見解の要約の繰り返しではなく自分自身の考えを記述しているか、論理的に矛盾なく記述されているか、読みやすくわかりやすい正しい日本語の文章となっているか等を基準として採点している。

以上